

事 業 報 告
決 算 報 告 書

(第 4 5 期)

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

株式会社札幌花き地方卸売市場
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

第45期事業報告

〔 自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日 〕

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

我が国の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあります。30年振りとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られます。

他方、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付かず、個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いています。

このため政府は、物価高対策や持続的賃上げの支援等を盛り込んだ総合経済対策を策定しました。その裏付けとなる令和5年度補正予算を編成し国内総生産の成長率の上昇を図りました。

北海道経済については、インバウンドや設備投資に支えられ持ち直し基調が持続しましたが、物価高により個人消費に対して下押し圧力となっているほか、家計の負担感が増加する下では道内経済の持ち直しテンポは緩慢なものにとどまりました。

花き業界においては、夏場の異常気象により需要期に必要な品目の入手が困難になった時期があったことや、円安等による物価高騰により消費者が優先順位を念頭においたことによる買い控え心理が働くなど厳しい経営環境が続きました。

このような中、市場への切花入荷量（令和5年ベース）について全国的に見ますと、東京都中央卸売市場（5市場）は前年比98.9%であり、道内市場（11市場）では前年比93.8%でした。当市場においては、首都圏に入荷が集中する傾向がある中、前年比96.3%と健闘いたしました。

これは、生産者の皆様が消費者の需要に応えるべく出荷にご協力をいただいた結果、100%に近い数字となりました。今後もなお一層のご支援をいただきたいと存じます。

このような経済状況のもと、令和5年度の当市場の取扱高（卸売業者三者の合計）は、数量で前年度比4.9%の減、金額では5.5%減の73億6千849万円（前年度78億134万円）となりました。前年度（令和4年度）と比較し、数量・金額とも減少しました。

当期損益につきましては、売上高は1億2千580万円であり、取扱金額が当初見込額より減額となったことにより前年度比で59万円の減収となりました。費用面では移転検討業務の未執行（800万円）や優先順位を踏まえた修繕費の執行など経費の節減

に努めたことから、1千328万円の営業利益（前期営業利益209万円）を計上することとなりました。

経常利益につきましても1千498万円（前期経常利益376万円）を計上することになり、法人税等を差し引いた当期純利益は1千228万円（前期純利益284万円）となり、2期連続の黒字決算となりました。

当市場は、道内の花き市場流通の6割以上を扱う北海道の拠点市場としての機能と役割を果たすため、今後も皆様のご支援を賜りながら努力してまいります。

（2） 対処すべき課題

当市場は、昭和56年4月に開場して以降43年が経過します。この間、北海道の花き流通の拠点としての役割を果たしてきたところですが、施設の老朽化が著しく、また、物流の効率化や品質管理の高度化など市場としての整備機能を含めた対応が喫緊の課題となっています。

令和5年度は、令和4年度に策定した移転検討業務の結果を受け、札幌市や市場関係者と市場再整備に向けての協議を続け、令和6年度は、移転スキームの検討を行うとともに、建替えの場所や有すべき機能等について、一定の方向性を打ち出すことを目途に引続き検討・協議を行います。

また、物流の2024年問題については、今後市場の再整備を進めていく中で市場関係者と物流の効率化に向けた課題と対策について検討を行ってまいります。

（3） 資金調達等についての状況

- ① 資金調達 当期中において、新たな借入金、株式の発行はありません。
- ② 設備投資 当期中に行った設備投資は、切花棟休憩室エアコン取付工事47万円です。

（4） 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売 上 高	119,733 千円	122,549 千円	126,393 千円	125,799 千円
当期純利益	△6,038 千円	△6,568 千円	2,844 千円	12,277 千円
1株当り当期純利益	△14円87銭	△16円17銭	7円00銭	30円23銭
総 資 産	728,891 千円	776,132 千円	696,611 千円	811,071 千円

（5） 使用人の状況（令和6年3月31日現在）

従業員数 社員3名、非常勤社員2名

2 株式に関する事項

- (1) 発行する株式の総数 500,000株
(2) 発行済み株式の総数 406,000株
(3) 当期末株主数 5名
(4) 株主

株主名	持株数	株式割合
札幌市	204,000株	50.25%
札幌花き園芸(株)	164,600株	40.54%
北海道植物(株)	19,000株	4.68%
(株)北海道銀行	16,000株	3.94%
はまなす花き(株)	2,400株	0.59%
計	406,000株	100.00%

3 会社役員に関する状況（令和6年3月31日現在）

役職	氏名
代表取締役社長	石川 敏也
専務取締役	杉村 亮
取締役	早瀬 京太
取締役	田嶋 久嗣
取締役	吉田 信夫
取締役	山田 紀雄
取締役	木村 明夫
監査役	木村 伸人
監査役	熊谷 清勝

以上、令和5年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしました。今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月26日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 石川 敏也

損 益 計 算 書

自令和5年4月1日
至令和6年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	101,641,052	
売上高割使用料（卸）	40,526,659	
面積割使用料（卸）	37,908,696	
売上高割使用料（仲卸）	3,245,701	
関連店舗使用料	19,959,996	
精算業務収入	18,118,752	
駐車管理収入	6,039,060	125,798,864
売上総利益金額		125,798,864
【販売費および一般管理費】		112,522,335
営業利益金額		13,276,529
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	1,593	
雑収入	1,703,752	1,705,345
経常利益金額		14,981,874
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益	0	0
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		14,981,874
法人税、住民税及び事業税		2,704,951
当期純利益		12,276,923

株主資本等変動計算書

自令和5年4月1日

至令和6年3月31日

(単位：円)

株主資本		
資本金		
	当期首残高及び当期末残高	470,000,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	40,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	77,228,345
	当期変動額 当期純利益	12,276,923
	当期末残高	89,505,268
利益剰余金合計	当期首残高	117,228,345
	当期変動額	12,276,923
	当期末残高	129,505,268
株主資本合計		
	当期首残高	587,228,345
	当期変動額	12,276,923
	当期末残高	599,505,268

純資産合計		
	当期首残高	587,228,345
	当期変動額	12,276,923
	当期末残高	599,505,268

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 石川 敏也

個別注記表自令和5年4月1日
至令和6年3月31日

(単位：円)

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の棚卸方法及び評価基準

棚卸方法----- 実地棚卸
評価基準----- 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっています。但し、平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

無形固定資産 定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法の規定にもとづく法定繰入率による繰入限度額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。

その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

②消費税等の会計処理

消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっています。また、その経理処理は税込方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

減価償却累計額の金額

有形固定資産の減価償却累計額 762,486,708 円

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度中の剰余金の配当に関する事項

当期中における配当金の支払いはありません。

当該事業年度後の剰余金の配当に関する事項

配当金の支払いの予定はありません。

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式） 406,000株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式） 406,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額 1,476円61銭

一株当たり当期純利益 30円23銭